

平成29年度 多面的機能支払交付金 実施状況アンケート調査

調査票の回答にあたって

農業・農村は、国土保全や水源涵養、景観形成等の多面的機能を有しており、この多面的機能が今後とも適切に発揮されるとともに、担い手の育成等の農業構造改革を後押しする施策として多面的機能支払交付金事業が制度化されています。

本アンケート調査は、宮城県における農業・農村の多面的機能の維持・発展に向け、多面的機能支払交付金に取り組む組織全てを対象に行うものです。次の留意事項を踏まえ、各設問に対してご回答いただきますようお願いいたします。

1. 以下の質問は、組織の代表者の方に、これまでの活動に基づいてご回答いただく内容となっています。
2. この結果は、宮城県、市町村及び本推進協議会において「本対策による施策の評価」や広報誌などに活用されます。個別の組織名等を公表することはありませんので、率直にありのままをご回答ください。
3. 質問のうち、**【問3, 4】**については、資源向上支払（共同活動）に取り組んでいる組織のみ記入してください。また、**【問5】**については、資源向上支払（施設の長寿命化）に取り組んでいる組織のみ記入してください。
4. 回答にあたっては、同封いたしました返信用封筒にて、**本推進協議会**に**平成30年1月26日（金）**まで、必ず提出していただきますようお願いいたします。

市町村名	
------	--

組織名	
-----	--

宮城県多面的機能支払推進協議会

問1 多面的機能支払交付金事業全般について、お聞かせください。

(1) 代表の方の年齢について教えてください。

(1つだけ○)

- 1 40歳未満 2 40歳以上 50歳未満 3 50歳以上 60歳未満
4 60歳以上 70歳未満 5 70歳以上 80歳未満 6 80歳以上

(2) 書記(庶務)を担当されている方の年齢について教えてください。

(1つだけ○)

- 1 40歳未満 2 40歳以上 50歳未満 3 50歳以上 60歳未満
4 60歳以上 70歳未満 5 70歳以上 80歳未満 6 80歳以上

(3) 会計を担当されている方の年齢について教えてください。

(1つだけ○)

- 1 40歳未満 2 40歳以上 50歳未満 3 50歳以上 60歳未満
4 60歳以上 70歳未満 5 70歳以上 80歳未満 6 80歳以上

(4) 構成員(草刈り等の基礎活動に参加される方)の方々のおよその平均年齢について教えてください。(1つだけ○)

- 1 40歳未満 2 40歳以上 50歳未満 3 50歳以上 60歳未満
4 60歳以上 70歳未満 5 70歳以上 80歳未満 6 80歳以上

(5) 組織の役員の後継者育成が県内組織の喫緊の課題となっておりますが、貴組織で、リーダー(役員等)育成に取り組んでいる事、意識している事、工夫している事などがあれば記入してください(例:若年層など次世代の方々も入れて取り組んでいる、子育ての一段落した主婦に書記や会計を任せている など)。

・取組内容等 (_____)

(6) 女性の役員参加について教えてください。

(複数○回答可)

- 1 すでに多面的機能支払活動組織の『女性代表』として活動している
2 すでに『書記(庶務)』、『会計』担当として活動している
3 今後、役員への参加を検討している
4 現時点で、役員への参加は検討していない

(7) 集落営農又は担い手を育成するために、多面的機能支払の取組が必要だと思いますか。

(1つだけ○)

- 1 必要だと思う 2 必要だと思わない 3 わからない

(8) 多面的機能支払交付金事業に取り組んだことにより、地域で「良くなった」と感じる
ことがあれば教えてください。

(複数○回答可)

- 1 水路，農道，ため池が良好に保全できるようになった
- 2 美しい農村環境を保つことができるようになった
- 3 地域内でまとまりが生まれた
- 4 非農業者の参加など，草刈りや泥上げなどの作業負担が軽減された
- 5 非農業者との交流が図られた
- 6 世代を超えた交流が図られた
- 7 遊休農地発生防止が図られた
- 8 防災・減災に効果があった
- 9 生態系や水質が改善した
- 10 地域の今後について，課題や方向性が共有された
- 11 地域農業や農村環境について，子ども達への啓発が図られた
- 12 農地の集積に効果があった
- 13 特に良くなったと感じない
- 14 その他 ()

(9) 多面的機能支払交付金事業の「事務手続き」等を進めるうえで、特に「負担」と感じ
ることについて教えてください。

(最大3つまで○)

- 1 点検や機能診断に基づく年度活動計画策定が負担
- 2 総会資料や議事録等の作成が負担
- 3 開催通知（草刈り作業や植栽，総会など）の作成が負担
- 4 役員会や会議の資料作成が負担
- 5 活動の参加者名簿や作業日報の作成が負担
- 6 活動記録の整理や記録簿作成が負担
- 7 金銭出納簿作成や領収証の整理が負担
- 8 日当などの金種仕分けや配布が負担
- 9 地域の意見の取りまとめが負担
- 10 市町村への申請や報告書類の作成が負担
- 11 外注や購入品などの事務処理が負担
- 12 特に負担は感じない
- 13 その他 ()

(10) 貴組織の今年度の交付予定金額は以下のとおり(平成29年11月末現在)ですが、
活動費目ごとのおおよその支出内訳を教えてください。

1. 農地維持支払 交付金	千円	2. 資源向上(共同) 支払交付金	千円
------------------	----	----------------------	----

内訳は、おおよその金額で構いません

① 日当(草刈り・泥上げ・農道路面維持などの基礎活動の日当)	千円	⑤ 日当①(植栽・生き物調査などの農村環境保全活動の日当)	千円
② 機械借上げ費、資材購入費、リース費など	千円	⑥ 日当②(水路等施設の軽微な補修などの日当)	千円
③ 外注費	千円	⑦ 機械借上げ費、資材購入費、リース費など	千円
④ その他(保険代・お茶代・事務費など)	千円	⑧ 外注費	千円
—	—	⑨ その他(保険代・お茶代・事務費など)	千円

※ 内訳はおおよその金額で構いません。また、その他の「事務費」など農地維持支払交付金と資源向上(共同)支払交付金に分けづらい場合もおおよその振り分けで構いません。

(11) 今年度交付された農地維持支払交付金及び資源向上支払交付金(共同活動)の額について、どのように考えていますか。

(1つだけ○)

- 1 多すぎて使いきれない 2 やや多すぎる 3 適当である
 4 やや少ない 5 少なすぎて取り組みたい活動ができない

(12) 貴組織の事務の一部を委託契約していますか。

(どちらかに○)

- 1 委託契約している 2 委託契約していない

(13) 上記(12)で「1 委託契約している」と回答した方のみお答えください。委託先はどちらの団体ですか。

(1つだけ○)

- 1 土地改良区 2 農業協同組合
 3 その他(_____)

(14) 上記(12)で「2 委託契約していない」と回答した方のみお答えください。今後、事務の一部を委託契約したいと考えていますか。

(1つだけ○)

- 1 委託契約を検討している (委託先: _____)
- 2 委託先が無い
- 3 今後も組織で事務を行う

(15) 現在の活動期間(5年ごと)終了後、次期の多面的機能支払(農地維持支払、資源向上支払)の取組をどのように考えていますか。

(1つだけ○)

- 1 農地維持支払の取組のみを継続したい
- 2 農地維持支払、資源向上支払の取組を継続したい
- 3 近隣組織と合併、又は広域化して取組を継続したい
- 4 取組は取り止める
- 5 現時点では未定(今後検討する)

(16) 交付金で購入した器具・備品(金額に関係なく、長期間使用する器具・備品)について、備品台帳を作成していますか。

(1つだけ○)

- 1 作成している
- 2 作成していない
- 3 該当する備品がない

(17) 農地維持支払、又は農地維持支払と資源向上支払(共同活動)の交付金を活用して、「施設の長寿命化のための活動」の取組を実施(日当の節減等により捻出できる範囲内で、施設の長寿命化のための活動を活動計画書に位置づけ、市町村から認定を受ける必要があります)することができますが、この方法で長寿命化対策の取組を実施する予定はありますか。

(1つだけ○)

- 1 この方法で、長寿命化対策に取り組むことは考えていない
- 2 この方法で、今年度から既に長寿命化対策に取り組んでいる
- 3 この方法で、来年度以降に長寿命化対策の取組を予定(検討)している
- 4 現時点では未定

問2 農地維持支払の活動について、お聞かせください。

(1) 年度活動計画の策定に伴い、施設の「点検」はどなたが実施していますか。

(複数○回答可)

- 1 役員 2 構成員 3 有識者 4 土地改良区
5 その他 (_____)

(2) 本交付金は農地、農業用施設(水路、農道、ため池等)の適切な保全管理に役立ちましたか。(1つだけ○)

- 1 大いに役立った 2 役立った 3 あまり役立たなかった
4 どちらとも言えない

(3) 遊休農地の発生防止に、本交付金がどの程度役立っていると思いますか。

(1つだけ○)

- 1 大いに役立っている 2 役立っている 3 あまり役立っていない
4 どちらとも言えない

(4) 平成26年度の多面的機能支払交付金事業から新しく活動要件となった『地域資源の適切な保全管理のための推進活動(農業者による検討会、地域住民等との意見交換会、農業者・地域住民等への意向調査など)』(毎年度1回以上実施)は、これからの地域資源の保全管理に役立つと思いますか。

(1つだけ○)

- 1 大いに役立つ 2 役立つ 3 あまり役立たない
4 どちらとも言えない

(5) 上記(4)の『地域資源の適切な保全管理のための推進活動』を行った際の資料、会議録及び調査結果等を作成し保管していますか。

(どちらかに○)

- 1 作成し保管している 2 作成していない

(6) 上記(4)の『地域資源の適切な保全管理のための推進活動』を通じて、活動期間中に「地域資源保全管理構想」として、適切な保全管理に向けて取り組むべき活動・方策等を取りまとめるよう義務づけられていますか策定しましたか。

(どちらかに○)

- 1 既に策定している 2 今後、策定する

＜資源向上支払（共同活動）に取り組んでいる組織のみ記入してください＞

問3 資源向上支払（共同活動）の「施設の軽微な補修」について、お聞かせください。

（1）農地，農業用施設（水路，農道，ため池等）の補修に役立ちましたか。

（1つだけ○）

- 1 大いに役立った 2 役立った 3 あまり役立たなかった
4 どちらとも言えない

（2）年度活動計画の策定に伴い，施設の「機能診断」はどなたが実施していますか。

（複数○回答可）

- 1 役員 2 構成員 3 有識者 4 土地改良区
5 その他（ _____ ）

（3）機能診断の結果、貴活動組織では「軽微な補修」を実施（又は実施予定）しましたか。

（どちらかに○）

- 1 実施した（又は実施予定あり） 2 実施していない（又は実施予定なし）

（4）上記（3）で「1 実施した（又は実施予定あり）」と回答した方のみお答えください。

農業用施設の補修を行う場合，どなたかに技術的な指導等を受けていますか。

（どちらかに○）

- 1 受けている 2 受けていない

（5）上記（4）で「1 受けている」と回答した方のみお答えください。それはどちらの団体からですか。（複数○回答可）

（複数○回答可）

- 1 市町村 2 土地改良区 3 施工業者 4 設計コンサルタント
5 その他（ _____ ）

問4 資源向上支払（共同活動）の「農村環境保全活動」について、お聞かせください。

（1）広報活動を今年度を実施していますか。

（複数○回答可）

- 1 広報誌を発行している 2 広報誌の発行を今後予定している
3 看板を設置した 4 ホームページを開設している
5 実施していない

（2）地域住民等との交流活動，学校教育，行政機関等との連携を今年度を実施しましたか。

（1つだけ○）

- 1 実施した 2 実施を予定している 3 実施しない

(3) 前頁(2)で「1 実施した」と回答した場合は、取組内容を記入してください。

・対象者： ， 取組内容：

・対象者： ， 取組内容：

・対象者： ， 取組内容：

＜資源向上支払（長寿命化）に取り組んでいる組織のみ記入してください＞

問5 農業用施設の資源向上支払（長寿命化）の取り組みについて、お聞かせください。

(1) 工事は、地域のみなさんでの直営施工ですか。業者への委託施工ですか。

(1つだけ○)

1 直営施工 2 業者への委託施工 3 どちらも実施している

(2) 施工箇所の設計や工事の際に、どなたかに技術的な指導等を受けていますか。

(どちらかに○)

1 受けている 2 受けていない

(3) 上記(2)で「1 受けている」と回答した方のみお答えください。それはどちらの団体からですか。(複数○回答可)

1 市町村 2 土地改良区 3 施工業者 4 設計コンサルタント
5 その他 (_____)

(4) 対象施設の補修・更新等を行う場合、施設の財産管理者、底地所有者と協議して取り組んでいますか。

(どちらかに○)

1 協議して取り組んでいる
2 今後、協議して取り組む

(5) 更新等を行った施設については、財産管理台帳を作成し、市町村等に譲渡するよう指導していますが、財産管理台帳を作成し財産譲渡していますか。

(1つだけ○)

1 台帳を作成し、財産譲渡している
2 台帳は作成しているが、財産譲渡していない
3 該当なし

多面的機能支払に関して、要望・意見等がありましたらご記入ください。

● ご協力ありがとうございました ●